



視聴覚刺激を考慮した快適性および 集中力向上のための作業環境の創生

2023
M2 松本 大祐

研究背景

近年のビジネスシーンや勉強場所

知的生産性を高める環境づくりが
求められる



集中できる作業環境の構築が必要

研究目的

脳活動の観点に基づく音環境および
光環境の**快適性**および**集中力評価**

作業に適した環境の把握

快適かつ知的生産性の向上



研究内容

音環境の脳活動評価

- 作業中の**音環境**に関する主観評価
 - ・音声情報の集中力阻害を考慮した主観評価
- fNIRS**による音環境の脳活動評価
 - ・作業時の音環境に反応する脳領域の把握



光環境の脳活動評価

- 作業中の**光環境**に関する主観評価
 - ・照度や色温度による作業に適した光環境の把握
- fNIRS**による光環境の脳活動評価
 - ・作業に適した光環境を脳活動から把握

- 音環境と光環境の複合刺激による**パフォーマンス評価**
 - ・音環境および光環境変更時の作業効率の向上
- ➡音環境および光環境を考慮した**快適で集中できる作業環境の構築**